

問い合わせ先  
第十一管区海上保安本部  
海洋情報調査課長 成田 学  
電話 098-867-0118 (内線 2530)

第十一管区海上保安本部  
平成 18 年 3 月 24 日

## ルネッサンスビーチ沖合付近における潮流観測について

第十一管区海上保安本部では、海の安全情報を提供するため、平成9年度からマリレジャー利用客の多い珊瑚礁海域において、順次潮流観測を実施しています。

今年度は昨年7月に沖縄本島西岸のルネッサンスビーチ沖合付近において潮流観測を実施しました。その結果、沖合付近は普段は流れが弱いものの気象・海象の状況により、海底付近で水面付近より速い流れが起きる事が判りました。

### 記

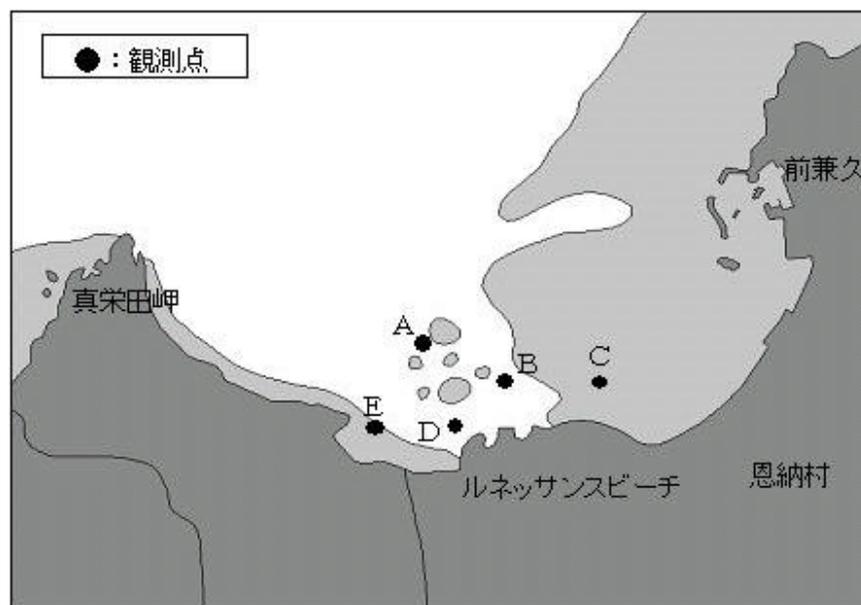
#### 1. 観測結果

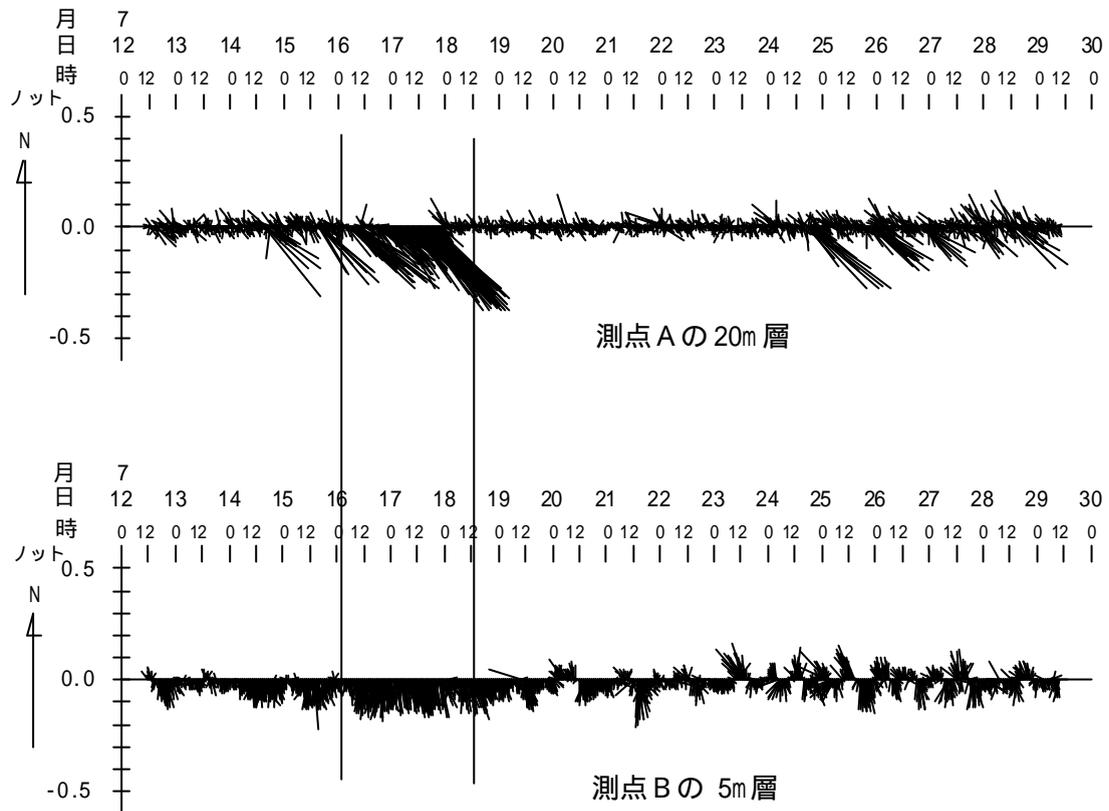
観測した期間中、特に強い流れは観測されませんでした。解析の結果潮流の強さは、海岸付近の観測点(C, D, E)では約0.1ノット程度と弱い流れでした。

これは、潮の満ち引きによる急激な流れ(潮汐性リーフカレント)は発生しないものと推測されます。

また、本観測期間中に海から陸へ向けての強い風が発生しなかったために、風による波やうねりで生じる急激な流れ(波浪性リーフカレント)の影響も小さかったものと考えられます。

しかしながら、観測点A, Bの海底から中層付近にかけて特異な流れが観測されました。(下図参照/測点Aは水深23m、測点Bは水深11m)





測点Aにおいては通常0.1ノット程度の流れが0.4ノット、測点Bにおいても通常0.1ノット程度の流れが0.2ノットとなり、通常の2~4倍程度の流れが連続的に発生しました。この期間の表面付近の流れは測点A、B点とも0.1ノット程度の流れでした。この流れの原因を特定することはできませんでしたが、この期間中先島諸島に台風5号が接近しており、何らかの影響があつて発生した流れではないかと推測しています。

注) 0.1ノットは、10分間で約30m流される速さに相当します。

## 2. 結果の公表

十一管区海上保安本部ホームページ上(下記参照)にて公表予定です。

インターネットアドレスは、<http://www1.kaiho.mlit.go.jp/KAN11/>